



表情や態度について



服装・所持品について



日常の言動について



交友関係について



加害者になっていないかのチェック

保護者を含めた周囲の皆様へ いじめ早期発見のチェックポイント

いじめを早期に発見し、解決するために、ご家庭で不安に思うことがあれば、まずは学校に連絡してください。

★表情や態度について	★交友関係について
<input type="checkbox"/> 以前と比べて表情が暗く、疲れた表情をすることが多くなった。	<input type="checkbox"/> 友達と遊ばなくなり、家に閉じこもりがちになった。
<input type="checkbox"/> 溜息をついたり、塞ぎ込んだりするようになった。	<input type="checkbox"/> 親しい友達が家に来なくなるなど、交友関係が急激に変化した。
<input type="checkbox"/> 落ち着きが無く、おどおどした態度を取るようになった。	<input type="checkbox"/> 知らない友達から頻繁に電話があり、不自然な外出が増えた。
<input type="checkbox"/> ととき涙ぐむことがある。	<input type="checkbox"/> いじめの話をするとう強く否定する。
★服装・所持品について	★加害者になっていないかのチェック
<input type="checkbox"/> 帰宅時、衣服や持ち物に汚れや破れがある。	<input type="checkbox"/> 言葉遣いが荒くなったり、反抗的な態度を取るようになった。
<input type="checkbox"/> 持ち物が無くなったり、壊されたり、落書きされたりしている。	<input type="checkbox"/> 人のことをバカにするようになった。
<input type="checkbox"/> お金の遣い方が荒くなり、その遣い道を言わない。	<input type="checkbox"/> 買った覚えの無いものを持っている。
<input type="checkbox"/> ナイフ(刃物)などを隠している。	<input type="checkbox"/> 与えたお金以上のものを持っている。 (おこづかいでは、買えないものを持っている。)
★日常の言動について	<p>☆思い当たることがあったら☆ まずは学校、各相談機関等に連絡してください。</p> <p>☆ネットトラブル/ネットいじめを防ぐためにご家庭でできること☆ ◇年齢や発達、利用目的に応じて、フィルタリングを設定する。 ◇使う場所や時間など、家庭内ルールを決める。 ◇他人を誹謗中傷する文言や嘘を書いたり、不愉快にさせる言葉を使ったりしない/させない。</p>
<input type="checkbox"/> 朝になると体調不良を訴え、登校を渋る。	
<input type="checkbox"/> 以前に比べ学校や友達の話題を避けたり、話をしなくなった。	
<input type="checkbox"/> 急に無口になったり、「死にたい」ともらしたりする。	
<input type="checkbox"/> 食欲不振、不眠を訴えるようになった。	
<input type="checkbox"/> 学習意欲をなくし、成績が急激に低下した。	
<input type="checkbox"/> 家庭から金品を無断で持ち出すことがあった。	
<input type="checkbox"/> 転校を口にしたたり、学校を辞めたいなどと言出す。	
<input type="checkbox"/> メールや SNS などをとても気にするようになった。	
<input type="checkbox"/> ゲームやネットなどに熱中し、現実から逃避しようとする。	

STOP いじめ ハラスメント

『いじめ・ハラスメント』のない学校生活を送るために

悩んでいるみなさんへ まずは相談を

なぜ自分がいじめられるのだろうか。こんなに苦しい日々がいつまで続くのだろうか。自分が悪いのだろうか。そんな風に自分を責めたり悩んだりしていませんか。

問題があるのは、いじめをしている人です。いじめは早期に発見し、解決することが大切です。あなたの周りには、あなたのつらさや悲しみを理解してくれる人がいるはずです。

まずは早目に、担任や学生相談室、保健室などに相談してください。



加害者にならないためにも

あなたが「遊び」や「おふざけ」のつもりでも、「からかった」つもりでも、相手は不愉快な気持ちになっていることがあります。軽い気持ちでしたことでも、取り返しのつかないことになることがあります。自分がされて嫌なことは、相手も嫌なのです。相手は「友達だから」「問題にたくないから」と思って笑っていても、心は傷つき泣いていることがあります。

早くそれに気づき、すぐにやめてください。そして、いじめは重大な犯罪行為にあたる可能性があることを理解してください。

周りのいじめ・ハラスメントに気付いたら

あの人は友達同士だから、ふざけているのか、遊びなのかわからない場合でも、もし自分がされて嫌だと感じる事があったら、本人も同じ気持ちなのです。きっと悩んでいます。苦しんでいます。

声をかけてあげてください。相談にのってあげてください。

あなた自身が今後どうして良いか分からなくなることもあるでしょう。そんなときは、担任の先生や学生相談室、保健室などに相談してみてください。

『いじめ・ハラスメント』に限らず 悩んだときは 必ず相談!

「いじめ」とは

「いじめ防止対策推進法」におけるいじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

つぎのような場合も「いじめ」となります

たった一回でも…

その行為が継続的でなくとも、反復されなくても、「いじめ」となります。たった1回のことで「いじめ」になり得ます。

深刻さは無関係

その行為が与える苦痛が軽度のものであつても（もちろん深刻であつても）心身の苦痛を伴えば「いじめ」となります。

善意であってもNo!

その行為が善意に基づく行為（例えば強い嫉）であつても、その行為を受けた側に苦痛があれば、「いじめ」となります。

力関係とも無関係

先輩・後輩、先生と学生などの力関係とは無関係に、一定の人間関係があれば、「いじめ」となり得ます。

いじめにあつたら／いじめに気付いたら

まずは相談してください。どこに相談してもかまいません

担任の先生 (担任補佐の先生)

担任の先生や担任補佐の先生以外でもかまいません。自分で話しやすいと思う先生にまず相談してください。

学生相談室 (カウンセラー)

学生相談室では相談室員の先生のほか、カウンセラーが在室しております。事前に予約しておくのと良いでしょう。(保健室で予約できます。)

保健室(看護師) 学生生活係

保健室あるいは学生生活係の職員に相談してください。いきなり相談室に入りにくい場合は、保健室で一度相談してみてもどうでしょうか。

とりあえず相談したい・・・そんな人は

連絡先

E-mail : stopijime@fukui.kosen-ac.jp

電話 : 学生相談室 0778-62-8213

保健室 0778-62-8212

学生生活係 0778-62-8210

※福井高専では「いじめ防止等対策の基本方針」に基づき、「いじめ防止等対策委員会」を設置しています。この委員会の詳細については「学生便覧」を参照してください。なお、パワハラ、アカハラ等のハラスメントに関しては「ハラスメント防止等に関する規則」に基づき、「特別委員会」が対応します。いずれのケースも学生からの相談には、上記の連絡先にて受け付けています。

「いじめ」の構図

・いじめには、当事者（いじめを受ける側、いじめを行う側）のほか、いじめをはやし立てる「観衆」と見て見ぬふりをする「傍観者」の集団が関係することがあります。

観衆

いじめをおもしろがって見ている人たちです。いじめを行っている人と同じくらい、いじめを受けている人を苦しめます。

傍観者

いじめがあると気付いたけれど、見て見ぬふりをする人たちです。消極的にいじめを支えてしまうことになります。

・いじめを受ける側といじめを行う側の立場が、入れ替わることもよくあります。
・「観衆」も「傍観者」も、いじめを行っているのと同じように見なされることがあります。



ネットトラブル/ネットいじめ

- ・近年、SNSやプロフ、ブログ、掲示板、なりすましメール、チェーンメールなどを通じたインターネット上での「ネットトラブル」が増えています。
- ・インターネットはとても便利なツールです。その反面、軽い気持ちで不用意な発言を投稿してしまえば、そのサイトが途端に「炎上」したり、他の投稿者から集団でバッシングを受けるといった被害を受けることもあります。その中傷に過剰に反応し、自分が他者に対して同じようなバッシングを行うと、今度は自分が加害者になってしまいます。
- ・最近ではスマートフォンやタブレット等の持ち運びが容易な機器が普及しています。これらの機器を使って“無断”で他人の顔や姿を撮影することは盗撮とみなされることがあります。このような行為に加え、その画像等に悪質なメッセージをつけてネット上に掲載する行為は、「いじめ」というよりも、重大な「犯罪行為」といえるでしょう。
- ・フェイス・トゥー・フェイスの会話とは異なり、互いの感情を読み取ることが難しいネット上の文字情報は、送った側の意図とはまったく異なる解釈をされることがあります。
- ・ネットトラブル/ネットいじめを防ぐため、ルールを守って正しく使うことを心がけましょう。

